

受験に合格する過去問勉強法

前書き

受験に合格するためには、本試験と一番傾向と難易度が似ている問題である志望校の過去問を解くことが最良の勉強法です。

その具体的な方法とそうすべき理由について、以下に述べます。

1. 早い時期に志望校の過去問を解くこと

まず、受験1年前～8ヶ月前の時点で志望校の過去問（全教科分）に目を通し、1年分だけで結構ですからそれぞれの教科をざっと解いてみて下さい。

過去問の入手法

山形県内の高校を受験するのであれば、「県立高校の過去問」、「各私立高校の過去問」を、山形市内の八文字屋さん等の大きな書店で購入することが出来ます。

また大学受験であれば、国立大学・私立大学を問わず、いわゆる「赤本」、「青本」といった各大学・学部（or 文化系・理科系）別の過去問集が書籍として発売されており、やはり八文字屋さん等の大手書店で購入することが出来ます。

もちろん、受験1年前に志望校の過去問を解いてみても、あまり or ほとんど解けなくて当たり前です。でも、それで良いのです。

早い時期に志望校の過去問を解いてみれば、おおよそではあっても自分の志望校の入試問題がどれくらい難しいか把握することが出来、どのくらい勉強すれば合格出来るのか、または志望校を変更した方がよいのか等を、ある程度判断することが可能になります。

これに加えて、実際に志望校の過去問を解いてみれば、その学校ではどんな問題が出題されているのかが分かるので、その対策として重点をどの分野に置いてどのように勉強すればよいのかといったことも見えてきます。

こうした知見に基づいて志望校合格のための勉強を進めると、志望校の入試にどういった問題が出るのか知らないでただ漫然と勉強したした場合に比べて、遙かに効率的・効果的に志望校向けに絞った受験勉強を行うことが出来、合格する可能性を大幅に高めます。

2. 入学試験前に志望校の過去問を最低5年分×3回解くこと

上述の勉強方法で志望校へ合格出来るように学力を高めておくとともに、入学試験本番の2ヶ月前くらいから3日前くらいの間に、今度は最低5年分の志望校の過去問を3回は繰り返し解いて、問題を解く力を自分のものとして下さい。

普通の能力の受験生でも、そうして本番に臨めば、高い確率で志望校に合格できます。そのような方法で簡単に志望校に合格できるのかとお思いの方もいらっしゃるでしょうが、上述の勉強法をきちんと実行すれば高い確率で合格できることを僕自身及び僕のところの生徒で確認済みなので、ぜひこの方法を実行してみてください。

P.S. 極端な話しですが、受験というものは志望校に合格すれば OK！なのであって、必ずしも自分の学力全体が大幅に向上しなくとも良いのです。

なぜならば、日本のような学校名にこだわる社会では、どの学校を卒業しているのかということが、学生が社会に出る際に取り得る進路に大きな影響を与えますし、その後の人生にもかなりの影響を及ぼします。しかし、少しくらいの学力の違いが出身学校名以上に人生に大きな影響を及ぼすことは、めったにありません。

ですから、当面の志望校合格を第一に考えて上述のようにマトを絞った勉強をすることです。そして、それでも自分の学力全体を向上させたいという高い意欲をお持ちの方は、志望校に合格してからそのための勉強をしても遅くはありません。

名門進学会・県立高校進学会

〒990-0864 山形県山形市陣場 2-7-45-3
電話：0120-91-5585（受付：月～土 11:00～20:00）

【注意・免責事項】

- ・どなたでも自由にダウンロードしてお読みいただけます。
ただし著作権は放棄していません。
- ・サイトでの再配布行為は禁止いたします。